

## 神が顧みられる献げもの

創世記四章

アベルもまた、羊の初子、その中でも肥えた羊を持って来た。主はアベルとその供え物に目を留められたが、カインとその供え物には目を留められなかった。カインは激しく怒って……。 (4、5)

アダムとエバの罪はその子たちに伝染し、兄カインが弟アベルを殺すという人類最初の殺人事件が起りました。神との関係が崩れるとき、人間世界における他者との関係にも破れが生じます。事件のキツカケは、神がアベルの献げものだけを顧み、カインの献げものには目を留められなかったことにあります。アベルの場合、「その中でも肥えた羊を持って来た」とあるように、最良のものを献げようとしたのです。そこに神に対するアベルの心が表されています。最良のものを受けるにふさわしい方として、彼は神を正しく価値づけたのです。神を最高に価値ある方とする、これこそ真実な礼拝の心です。私たちが神に献げものをするとき、どのような思いから献げているでしょうか。小さな私たちを常に顧みいてくださる神に対する感謝の思いを形に表そうではありませんか。